

第2回（仮称）碩田中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成24年10月23日（火）18：30～20：30

場所：大分文化会館 第2小ホール

○出席者38名（内代理出席1名）

1. 開会のことば

- ・瑞木副会長より、開会のことば。

2. 会長あいさつ

- ・吉田会長より、開催に当たってのあいさつ。

3. 議事

(1) （仮称）碩田中学校区適正配置地域協議会規約（案）について

①3校統合案について

- ・資料集をもとに3校統合案について、事務局より説明する。
- ・質疑に先立ち、住吉小学校のPTA会長である分藤委員が発言を求め、住吉小PTAとして保護者の意見をとりまとめた151世帯分のアンケート結果について報告がある。

<主な質疑応答>

【委員】3校統合の考え方は、児童数が今後減少することが大きな要因とのことだが、資料によると荷揚町小は平成24年度から30年度にかけて、209名から290名へ1.5倍となっている。大分市の年少人口が2035年には2005年と比べて3割以上減になるというデータは、荷揚町小には当てはまらないのではないか。

【事務局】推計ではこの地域の0歳から5歳までの子どもが、このまま小学校に入学した場合の経年変化で示している。平成19年度の過去の推計の資料を見ると、24年度には276名の予定が、実際には転居するなどして-67名の209名となっている。荷揚町小は以前からこのような経過をたどってきており、今後も推計よりも下回って推移していくと考えている。

【委員】確かに推計より減ることは色々な事情でそうなる可能性はあるが、荷揚町小はかなりの率で増えている。もともとの議論の前提が2035年には3割以上の減であれば、推計で増えている小学校を適正配置の対象にしたことに疑問があるので、見解をお聞きしたい。

【事務局】標準規模の学級数は、学級ごとに色々な活動等ができることなどを踏まえ、検討委員会や教育委員会では12学級から24学級で検討してきた。今後50年、60年を見越した時に、今後も荷揚町小は11学級以下で推移していただろうと考えている。また、適正配置を考える上で、校舎の建築経過年数も一つの基準となり、適正配置の対象となっている。

【委員】12学級から24学級が標準的な学級数だという説明があったが、推計を見ると29年度には3校統合で27学級となっている。3校統合した場合、標準の学級数より

も増えてしまうことについて見解をお聞きしたい。

【事務局】3校統合すれば、確かに24学級を越える規模になることは推計されている。しかし、50年、60年先を考えた時に、大分市だけでなく日本全体としても3割以上減少することを考えれば、27学級から当然減少していくと考える。また、その推計にも実際との乖離があることも考慮している。

【委員】3校統合した場合、現在の校舎の機能が失われることが心配である。地域コミュニティの維持の観点から、地域の集会の場や避難施設等としても施設は必要である。市全体の予算関係も含めて3校統合になった場合のビジョンを示した上で、検討すると納得しやすいと思う。

【委員】検討委員会や教育委員会での審議の時に、現状のまま3校を改修、あるいは2校統合、3校統合の場合の建築費用、また3校統合の場合の児童数、学級数、敷地面積、立地場所のシュミレーションなどをしていけば、その想定した諸要件について示さないと、全体を総合した検討とはならないのではないかと。

【委員】3校統合した場合に、現在の教育環境より良くなるというような将来ビジョンを示してほしい。それが子どものためになるならば、全面的に支援するつもりだが、そういった全体的なビジョンが見えないので、判断をしようがない状態である。

【委員】学校とは、子どもはもちろん地域社会のものでもあることから、子どもや地域のために、このような施設やシステムを導入するといったビジョンを示し、市役所全体で協議しなければ、将来的には計画が頓挫してしまう。

【委員】3校統合は、大分市全体の総合的なまちづくりといった観点に関連してくると思うのだが、そういったビジョンが示されていない。教育委員会が中心となって、市役所全体に総合的なまちづくりといった観点で働きかけることが必要である。

【事務局】新設校の位置は現在の時点で全くの白紙なので、具体的な建設費用等のシュミレーションはしていない。なお、基本計画の中では、ビジョンについて具体的には示していないが、目指すべき方向性と具体的方策として、本市のリーディングスクールとなりうる学校の建設、小中一貫教育のモデルとなるような学校など、学校の機能としての側面からの提案をしている。また地域における地震や津波の対策等防災の観点からの機能、地域コミュニティの形成を促進する機能を有した学校の建設などを提案している。最初に具体的なビジョンを示すのもひとつの手法だと思うが、そうするとこういった機能を持った学校ということが大前提となる。それよりも、皆さんの意見を聞き、この地域ならではの機能等が必要だと提案していただいた上で、ビジョンを示させていただきたい。

【委員】検討委員会では、「3校統合案もあるが、2校統合案もあるのではないかと」という意見があったが、今回唐突に3校統合との話が出てきたので、検討委員会での結論はどうなったのかということが理解できていない。

【事務局】検討委員会でまとめた報告書の中には、確かに3校統合案と2校統合案があったが、パブリックコメントや市議会等での意見を伺い、それらを踏まえて教育委員会の委員で最終的に方針を決め、3校統合案に基づいた基本計画を策定した。

【委員】 検討委員会から提出された報告書を踏まえて策定された基本計画を基準にしなければ、行ったり来たり戻ったりで結論が出ない。碩田中学校区全体でどうすべきかという原点に戻り、検討していくのが地域協議会の役割ではないか。

【委員】 児童数が減少し学校規模が小さくなったことにより、色々な教育上の弊害が出てきているので、将来的にも抜本的に見直しましょうということで、3校統合の考え方が出てきている。そこにもう一度戻って議論を進め、本当に3校統合は必要なのか、現状又は2校統合のままで本当に将来ともにやっていけるのかの判断を我々がするべきであろう。

【委員】 子どもたちはクラブ活動等で住吉小、中島小、荷揚町小と交流が深まっていて、「いずれ統合になるよ」と話をした時に、本当に子どもたちは喜んで、「一緒にになりたいな」と言う子どもたちの声にも耳を傾けていただきたい。

【事務局】 適正配置の基本となる考えは、現在及び将来の子どもたちにとって、より豊かな教育環境というのを当然第一義で考えていかなければならない。そして、子どもたちは切磋琢磨し、他の子どもたちと多く出会う中で、生きる力をはぐくんでもらいたい。そのために、教育委員会はこの基本計画を策定している。

【議長】 3校統合に至った経緯を、もう一度皆さん検証をなさっていただきたい。色々な意見を出していただき活発の議論が行われました。3校統合して1校建設との合意には至っていないが、原点に戻ってはどうかとの意見もありましたので、次回にまた協議したい。

○本日いただいた意見等を踏まえ、会長や副会長との協議を経て、次回の会議の協議内容を詰めていくことを確認する。
なお、本日協議する予定であった議事については、次回以降に協議する。

(2) その他

- ・事務局より、次回の日程、今後の参考とするため、最近新しい校舎を建設した大道小学校の学校公開日、碩田中学校区・賀来小中学校の小中一貫教育公開研究発表会について説明する。

○第3回の地域協議会を11月20日(火)18:30~20:30 大分文化会館第2小ホールで行う。
○大道小学校の学校公開日 11月1日(木)、2日(金) いずれも9:30~12:15
○碩田中学校区 11月13日(火)13:30~16:40 会場:中島小学校
賀来小中学校 11月14日(水)13:20~16:40 会場:賀来小中学校

4. 閉会のことば

- ・江藤副会長より、閉会のことば。